

はむら 市議会だより

No. 83

(通巻No.192)

平成22年2月15日発行
羽村市議会
〒205-8601

東京都羽村市
緑ヶ丘5丁目2番地1

☎ 042(555)1111

ホームページアドレス
<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



アミメキリンの親子【羽村市動物公園】

*子キリンは昨年12月に生まれました。春には一般公開の予定です。

(平成22年1月撮影)

第7回(12月)定例会

一般質問	市政を問う(16人の議員が一般質問)	2ページ
市長提出議案	13件の議案を審議	14ページ
議員提出議案	1件の議案を審議	14ページ
議決結果一覧		15ページ
行政視察レポート		16ページ
平成22年議会の予定		20ページ

市政を問う

平成21年第7回羽村市議会(定例会)を、12月1日から18日までの18日間の会期で開催しました。
 開会初日には、市長から、市政についての所信表明がありました。
 12月1日、2日、3日には、16人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。
 ※質問・答弁は、内容を要約して掲載しています。

議員名	頁	議員名	頁
小宮 國暉	2	市川 英子	8
大塚あかね	2	露木 諒一	8
濱中 俊男	4	川崎 明夫	9
中根 康雄	4	水野 義裕	10
橋本 弘山	5	石居 尚郎	10
馳平 耕三	6	山崎 陽一	11
西川美佐保	6	鈴木 拓也	12
門間 淑子	7	中原 雅之	12

こみや くにあき
小宮 國暉 議員
 (新しい風)



- ◇平成22年度予算編成について
- ◇環境ベースの地域経済活性化を
- ◇子どもたちに郷土愛を育む教育を

平成22年度予算編成について

激変する経済・環境・社会情勢に対処するには、行財政改革の推進は必須の課題である。財政安定基盤構築の

ための出発点となるべき平成22年度予算編成について伺う。

質問 予算編成の基本的な考えは何か。

おおつか
大塚 あかね 議員
 (民主党)



- ◇体験農園について
- ◇フィルムコミッションについて
- ◇地デジ移行への取り組みについて

体験農園について

質問 市はどのような助成、支援を行ってきたか、また、行っているのか。

市長 財政面では開設時の施設整備費

の助成を、人的支援としては利用者募集やイベント等を農業委員会と連携して行っている。

質問 管理面での助成を検討しては。



▲子ども向けの羽村の歴史関係図書等

市長 都市基盤整備、市内産業に対する緊急経済対策等の産業活性化支援、将来につなげていくための財政基盤確立を目指す。国においては事業見直しを実施されているので、確実な情報把握と万全な予算編成に努めていく。

質問 緊急財政対策について、どのように予算編成に反映されたか。

市長 歳入面は市税収納率向上、市有財産有効活用等を、歳出面は内部管理費削減、人件費見直し、補助金見直し等を実施。歳入では来年度総額で約2

億1千100万円、平成23年度は約1億4千600万円の増収、歳出では21年度当初予算比で、平成22、23年度共に約1億8千300万円の削減となっている。

質問 市民サービスの向上、歳入確保のため、民活導入等による市保有資産の有効活用は、具体的に実施に向けて検討されているか。

市長 意義が低い市有地の早期売却促進、公共施設駐車場有料化、小作駅前駐車場有効活用等を検討している。

環境をベースにした地域経済活性化を

いかに環境と経済を両立させ、持続可能な経済社会を構築するかが喫緊の課題となっている。

質問 企業の地球温暖化対策に対し市は企業の負担軽減支援を考えているか。

市長 環境に配慮した事業活動を行う中小企業を支援するために融資制度を創設。今回の定例会に条例案を上程した。

○その他「子どもたちに郷土愛を育む教育を」について質問しました。



▲体験農園

市長 現時点では初期投資の財政支援と人的支援等を行っていききたい。

質問 利用者に対して助成を行っては。

市長 現時点では考えていない。

質問 市として、増園に向けどのような取り組みを図っているか。

市長 都市農業の振興を図る観点から市内農業者に開設の意向調査を実施した。農業者の多くが出荷を中心に営農しているので現時点での希望者はいないが、今後も農業委員会を通じて増設に向けた取り組みを進めていきたい。

フィルムコミッション事業への取り組みについて再び伺う

質問 東京ロケーションボックスの市町村窓口欄へ掲載している効果は。

市長 現時点では問い合わせはない。

質問 市としてフィルムコミッション事業を立ち上げてはいかがか。

市長 観光振興、地域経済活性化を図る手段の一つとして同事業の検討を進めており、ガイドラインの作成等に取り組んでいる。

地デジ移行への取り組みについて

質問 総務省開催の説明会の状況は。

市長 延べ34回開催され、409名が参加したとのことである。

質問 市の施設が原因となる受信障害の調査の進捗状況について伺う。

市長 ゆとりぎが原因の障害が判明した。青梅市二ツ塚中継局が開設されると解消の見込みであるが、再度調査を行い、障害が確認された場合はケーブルTV等による補償を予定している。

※体験農園：市民農園とは異なり、園主が作付計画をつくり、種や苗、肥料、農耕具をすべて用意し、長く農業に従事された人ならではの理にかなった説明のもと、農作業を行える畑のカルチャースクールの農園